

平成 29 年度

事業計画書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

一般社団法人日本非破壊検査工業会

1. 基本方針

平成 29 年度の日本の経済状況は、中国・アジア新興国及び米欧先進国の景気回復の兆し、老朽化設備の維持・更新投資、人手不足に伴う合理化・省力化投資、インバウンド産業の設備投資、国の 21 世紀型インフラ整備公共投資などにより引続き緩やかな回復基調の見込です。しかし、英国の EU 離脱、米国新政権の保護主義的な通商政策が強化されれば、大幅な円高、輸出や企業収益の悪化が懸念されるところです。

このような状況下で、設備保全分野において、産業保全のスマート化、ビッグデータを活用した IoT(Internet of Things)の利用、ロボットによる自動化・省力化が国の施策として推進されています。現状、人手不足、繁忙を極めている非破壊検査業界においても、IT 化、機械化により労働集約型産業からの質的転換を検討する段階であると考えています。

こうした情勢の中、当工業会は、会員の非破壊技術開発の支援、普及活動を進めてまいりました。平成 29 年度は、一般社団法人として実施を義務付けられている「公益目的支出計画」が完了し、新たな事業活動を推進する年度となります。「非破壊検査技術の研究・開発及びその成果の普及事業」と「非破壊検査の展示、資料収集及び啓発普及事業」を引き続き確実に実施するほか、主要事業である「資格認証事業」や「教育講習事業」の推進並びに高齢・老朽化する産業設備や社会インフラでの維持管理に資する非破壊検査技術の活用等の市場創出に向けた施策を強力に推進してまいります。

また、官公庁等の公的機関及び大学並びに業界関連団体との連携強化を図り、非破壊検査の発展と普及に努めます。

今年度を実施する重点事業は次のとおりです。

(1) 非破壊検査技術の調査・研究・開発及びその成果の普及事業の推進

開発委員会を中心に非破壊検査技術の調査研究及び社会インフラの維持管理に係る技術開発の推進並びに技術討論会の開催や技術指導・研修による普及活動を推進します。

(2) 非破壊検査の展示・啓発及び普及事業の推進

調査報告書及び会報並びに会誌の発行、業界動向調査や経営関連情報の収集と公開を行い、不況対策、雇用対策、設備投資等の経済・産業政策等の活用を促進するとともに、提案・提言等の活動を通して、非破壊検査業界の経営基盤の強化に努めます。

(3) 「コンクリート構造物の配筋探査技術者資格認証事業」の推進

「土木(橋梁)配筋探査技術者資格認証」及び「建築(JASS 5 T-608)配筋探査技術者資格認証」の更なる発展と普及を目指し、関東、関西及び九州の 3 地区において資格試験を実施します。建築及び土木のそれぞれの分野の配筋探査技術者の養成と両分野の配筋探査技術者の資格取得を推進し、インフラの品質確保に資する検査技術力の向上と全国をカバーする検査網の拡充を促進します。また、

平成 29 年度から「配筋探査技術者資格(土木)再認証試験」開始します。再認証試験では、実技試験により技量確認し資格者の技量維持向上に努めます。

(4) 「コンクリート構造物の配筋探査技術講習」の推進

- ① 配筋探査技術者資格認証の取得を目指す全国の検査技術者を対象に、学科（一次）試験のための「配筋探査講習会」と実技（二次）試験のための配筋探査技術の実技水準の向上を図るための「配筋探査実技講習会」を関東、関西及び九州において開催します。
- ② 建築分野の JASS 5 T-608:2009 に規定される「構造体コンクリートの鉄筋位置とかぶり厚さ検査」に対応する「JASS 5 T-608 講習会」を開催し、建築分野の配筋探査技術の普及と探査技術の向上を推進します。

(5) 「インフラ調査士」資格認証事業の普及推進とインフラ市場の開拓・拡大

国土交通省の公的資格として認定を受けた「インフラ調査士」の普及活動とインフラ維持管理市場の開拓・拡大を推進します。

- ① 近接目視と非破壊検査の詳細調査技術を兼ね備えた「インフラ調査士」の認知度、地位向上を図ることで、新たなインフラ維持管理市場の開拓・拡大を推進します。
- ② 「インフラ調査士」に引き続き、管理技術者資格の「インフラ調査管理士」の創出、インフラ調査士資格の更新試験などのあり方について、認証制度の見直し検討を進めていきます。

(6) 経済産業省、国土交通省、厚生労働省などの官公庁並びに非破壊検査関連の諸団体との連携強化を図り、非破壊検査の発展及び普及に係る活動を推進します。

2. 本部事業

2.1 実施事業継 1「非破壊検査技術に関する調査、研究、開発並びに成果の普及」

1) 担当部署：技術部会

部会開催	3 回開催（4 月、11 月、平成 30 年 2 月）
開発委員会	4 回開催
標準化委員会	3 回開催（内 2 回は技術部会と併催）
シーズ委員会	3 回開催（内 2 回は開発委員会と併催）

2) 実施項目

(1) 調査・研究・開発

- ① 過年度実施研究と継続実施研究の成果と課題の検証
 - a) タンクのコーティング上からの溶接線検査の検討
 - b) 住宅関係の非破壊検査技術及び住宅評価技術に関わる調査・研究・開発
- ② 公的機関等の受託調査研究の企画提案
 - a) 公募による企画提案W/Gの設置

- b) 公的機関の委託調査研究テーマのスクリーニングと企画提案の実施
- c) 国土交通省の社会実験への参画
- ③ 非破壊検査技術の向上に関する調査研究
 - a) 「住生活基本計画」の改正に伴う非破壊検査技術の積極活用及び技術提案
 - b) 大学等の研究機関との連携による非破壊検査技術シーズ・ニーズの調査
- ④ 赤外線等を使用した外壁診断機器の開発
- (2) 規格標準化の推進
 - ① 各非破壊検査手法に関する標準手順書の作成
 - ② 非破壊検査機器の校正・定期点検の標準化、トレーサビリティの体系化
 - ③ 各非破壊検査手法の報告書フォーマットの作成
- (3) 成果の普及
 - ① 技術討論会の開催（東京）
 - 日時：平成 29 年 8 月 31 日（木）
 - 場所：きゅりあん 小ホール
 - テーマ：「道路インフラマネジメント～近接目視から詳細調査へ～」
 - ② 講演内容
 - a) インフラの維持管理におけるスクリーニング技術及びモニタリング技術
 - b) トンネル維持管理における課題と地方行政の果たす役割
 - c) 道路橋等の点検技術の課題と最新計測・非破壊検査技術の適応性
 - d) 高速道路の維持管理の課題と非破壊検査の役割
- (4) 非破壊検査技術の研修・指導の促進
 - ① 公的機関の研修会等への指導員、講師の派遣
 - ② 展示会場やホームページほか外部からの質問・問合せに対する指導・助言
 - ③ 国土交通省・経済産業省への協力
 - a) 国土交通省直轄工事の非破壊試験の活用による監督・検査の効率化への協力
 - b) 国土交通省と経済産業省の「インフラメンテナンス国民会議」の技術コンペへの提案・協力

2.2 実施事業継 2「非破壊検査に関する展示、資料収集及び啓発普及事業」

1) 担当部署: 広報部会

部会開催 4 回(6 月、9 月、11 月、平成 30 年 3 月)

2) 実施項目

- (1) 展示会の企画・運営
 - ① 第 8 回非破壊評価総合展(2017)の企画・開催
 - ② 関連団体の展示会への協賛
- (2) 資料収集とその公開

- ① 業界動向、売上高統計調査、経営実態調査及び調査結果等の公表
- ② 標準積算資料の更改
- (3) 普及活動
 - ① 「生産性設備向上投資促進税制」及び「中小企業経営強化税制」に係る証明書発行
 - ② 調査資料・報告書、会報・会誌等の発行、出版物管理
 - ③ マスコミ取材、テレビ放映等への協力
 - ④ 「インフラ調査士」資格制度の広報・普及活動
 - ⑤ 工業会事業、その他「非破壊検査」に係わる広報活動

2.3 その他事業他1「資格認証事業」

1) 担当部署：資格認証部会(認証運営委員会)

部会(認証運営委員会)開催4回(6月、9月、12月、平成30年3月)

2) 実施項目

- (1) コンクリート構造物の配筋探査技術者資格認証
 - ① 土木(橋梁)配筋探査技術者資格試験及び建築(JASS 5 T-608)配筋探査技術者資格試験を関東、関西及び九州の3地区で実施
 - ② 土木(橋梁)配筋探査技術者の再認証試験の開始
- (2) インフラ維持管理に係るインフラ調査士認証制度の普及推進
 - 次の道路施設の点検業務を対象としたインフラ調査士の資格試験を実施(年2回)
 - ① 「インフラ調査士」鋼橋資格
 - ② 「インフラ調査士」コンクリート橋資格
 - ③ 「インフラ調査士」道路トンネル資格
 - ④ 「インフラ調査士」付帯施設資格
- (3) 普及・広報活動
 - ① ホームページ、マスメディアなどを通じた認証制度の広報
 - ② 建築(JASS 5 T-608)配筋探査技術者資格更新の告知
 - ③ インフラ調査士の資格更新試験の実施法案の策定
- (4) その他
 - ① インフラ調査士認証制度のあり方検討
 - ② 試験問題の統計分析による試験問題の適正化

2.4 その他事業他2「教育講習事業」

1) 担当部署：教育講習部会

部会開催3回(6月、11月、平成30年2月)

2) 実施項目

- (1) コンクリート配筋探査講習会の企画・運営
 - ① 配筋探査講習会の開催
 - ② 配筋探査実技講習会の開催
 - ③ JASS 5 T-608 講習会の開催
- (2) インフラ調査士講習会の企画・運営
インフラ調査士講習会の開催
- (3) JIS Z 2305 資格試験対策講習会の企画・運営
- (4) 普及活動
 - ① ホームページ、マスメディアなどを通じた認証制度・講習会の広報活動
 - ② 公的機関(国交省、地方整備局等)との連携・支援による技術資格者活用の促進

2.5 その他事業 他3「部会、委員会活動」

1) 総務部会活動

- (1) 担当部署：総務部会
部会開催 4回(6月、10月、12月、平成30年2月)
- (2) 実施項目
 - ① 会務関係(総会、理事会等の運営)
 - a) 定時総会：平成29年5月22日(東京都千代田区霞が関)
 - b) 理事会：定例(4月、8月、10月、平成30年1月、2月、3月)、臨時(5月)
 - ② 収支予算管理、資産管理、決算関連事項及び改革委員会活動
 - ③ 入会審査及び会員の届出事項の変更届の審査
 - ④ 国際交流：第8回日韓交流会開催(於 日本)
 - ⑤ 対外活動の推進
 - a) 官公庁等公的機関との連携：経済産業省、国土交通省、厚生労働省ほか
 - b) 関連団体との連携：(一社)日本非破壊検査協会、(一社)日本溶接協会ほか
 - ⑥ インフラ調査士の普及に向けた対外活動
 - ⑦ インフラ調査士認証制度の企画、運営
 - ⑧ その他：官庁届出、通達・指示の周知、契約関係、人事・労務管理

2) 安全部会活動

- (1) 担当部署：安全部会
部会開催 2回(7月、11月)
- (2) 実施項目
 - ① 安全衛生管理の啓発
 - a) 安全衛生標語の募集と表彰
 - b) 無災害労働時間調査及び表彰

- c) ポスターの発行
- ② 安全手帳の発行
- 3) 放射性同位元素等安全管理委員会活動
 - (1) 担当部署:放射性同位元素等安全管理委員会
 - (2) 実施項目
 - ① 監督官庁の情報収集・対応
 - ② 法改正「放射性同位元素等の規制に関する法律」に伴う対応検討
 - ③ 上記法改正に伴う「放射線特別教育 CD-ROM」の見直し
- 4) 放射線管理手帳発効機関
 - (1) 担当部署:手帳発効事業所（関東、関西、中国、九州）
 - (2) 実施項目
 - ① 平成 29 年度の手帳発行
 - ② 登録事業者への指導・助言
 - ③ 発効事業所の業務打合せ

2.6 支部活動

1) 東日本支部

(1) 会務関係

- ① 支部大会 平成 29 年 6 月
- ② 年末例会 平成 29 年 12 月
- ③ 幹事会 年 5 回開催予定
- ④ 各種委員会 本部の部会に準じた活動を遂行
広報委員会（年 2 回開催予定）、安全委員会（年 2 回開催予定）
技術委員会（年 6 回開催予定）、教育講習委員会（技術委員会と併設）

(2) 支部単独事業

- ① 技術検討会（経営交流会）
会員各社の技術の向上、交流の促進を 1 回以上実施
- ② 春期・秋期 NDI・レベル 2 一次受験対策講習会
JIS Z 2305 認証試験のための講習会（RT、UT、MT、PT、ET の 5 部門）を 9 月と 3 月に実施する。講習会開催時における「訓練実施記録」の証明書を発行
- ③ 事業所見学会
会員各社の技術の向上、交流の促進を目的に 11 月に実施

(3) 本部事業関連

- ① 本部事業の地域展開のため、インフラ調査士や配筋探査講習会及び JASS 5 T-608 講習会並びに資格認証試験を本部の関係部会と協力して実施
- ② インフラ調査士普及活動の推進

2) 関西支部活動

(1) 会務関係

- ① 支部大会 平成 29 年 6 月
- ② 9 月例会兼経営交流会 平成 29 年 9 月(大阪)
- ③ 関西地区新春賀詞交歓会 平成 30 年 1 月(大阪)
- ④ 幹事会 年 6 回開催予定
- ⑤ 各種委員会

本部事業の担当部署と連携し本部事業の地域展開を図る為、広報委員会、技術委員会、教育講習委員会、安全委員会を開催

(2) 支部事業

JIS Z 2305 資格試験対応講習会、レベル 2 一次試験受験対策講習会(RT、UT、MT、PT の 4 部門)を 2 回(平成 29 年 9 月と平成 30 年 3 月*開催地大阪)、二次試験受験対策講習会(UT)を(平成 29 年 7 月と平成 30 年 11 月*開催地大阪)で開催予定

(3) 本部事業関連

- ① 本部事業の地域展開の為、配筋探査講習会、資格認証試験 並びに JASS 5 T-608 講習会を本部関連部署と協力して実施
- ② インフラ調査士普及活動の推進

3) 西日本支部活動

(1) 会務関係

- ① 支部大会 平成 29 年 6 月(北九州市)
- ② 秋季例会 平成 29 年 9 月(広島市)
- ③ 新年例会・賀詞交歓会 平成 30 年 1 月(北九州市)
- ④ 幹事会 年 7 回開催予定(内 3 回は他会と併設)
- ⑤ 各種委員会

本部事業等の地域的展開を具体的に遂行する各種委員会を、本部工程に従い開催

(2) 支部事業

- ① 技術交流会 平成 29 年 11 月(九州機械工業振興会)
JSNDI 九州支部技術サロンと共催で実施
- ② アンケート調査に基づく講座 平成 30 年 1 月
- ③ JIS Z 2305 認証レベル 2 対応(座学、実技)講習会
JSNDI 九州支部と協賛開催し、講師派遣

(3) 本部事業関係(地域展開の協力・支援)

- ① 本部事業の地域展開のため、配筋探査講習会・配筋探査実技講習会及び配筋探査資格認証試験他を本部関連部署と協力して実施
- ② 支部委員会活動

広報、技術、安全、教育講習各委員会において、関連する本部事業へ協力・支援するとともに地域での活動を推進

- ③ 国交省地方整備局道路技術講習会
地方整備局より職員対象の道路技術講習会に非破壊検査技術講師の派遣
(四国地方整備局、九州地方整備局)
- ④ インフラ調査士普及活動の推進

4) 機材支部活動

(1) 会務関係

- ① 支部定期大会 6月1日(大田区産業プラザPI0 3F 特別会議室)
特別講演：東京大学 大学院情報理工学系研究科 システム情報学専攻
先端科学技術研究センター 教授 生田幸士 氏
「細胞、生体の非破壊、低破壊治療を目指すマイクロロボット」
- ② 4支部合同例会：11月15日(沖縄県那覇市)
- ③ 幹事会 年4回開催(5月、9月、12月、平成30年3月)
- ④ 各種委員会
 - ・本部事業推進のため、広報委員会、技術委員会、教育講習委員会、安全委員会の開催
 - ・インフラ調査士普及活動の推進

(2) 専門分科会活動

- ① UT分科会
 - a) 第14回「フェイズドアレイ講習会」開催
8月(大田区産業プラザPI0)
 - b) 機器集計による市場調査(平成30年2月)
- ② RT分科会
 - a) CR/DRのJIS(ISO)規格化に関するセミナーの企画、実施
 - b) CR/DRの新製品・新技術を広めるための内覧会の企画、実施
 - c) 関連施設や設備の見学ツアーについての調査および情報収集
- ③ 計測分科会
 - a) 第5回「新入社員のための非破壊検査基礎講習会」開催
4月17日、18日(日本溶接技術センター)
 - b) 「コンクリート配筋探査の入門書」発行検討
 - c) 関連施設の見学会の検討
- ④ TT分科会
 - a) 赤外線サーモグラフィ技術の広報活動(会報等の記事掲載)
 - b) サーモグラフィの使用状況の視察
 - c) テーマにそった実験またはセミナーの企画

2.7 対外活動

今年度は、日本経済再生に向けた国の経済対策に対応して、高齢化・老朽化した社会インフラの安全性の確保と長寿命化のための検査診断技術や検査手法の開発・実用化並びにその活用と普及に関し、経済産業省や国土交通省並びに地方自治体等との連携協力を促進すると共に、非破壊検査業界の関連団体との緊密な連携を図り、非破壊検査の発展と普及に向けた活動を強化推進します。また、下記に示す外部委員会へも積極的に参加し、相互理解と連携協力の促進に努めます。

- (1) (一社)日本非破壊検査協会 諮問委員会他 5 委員会
- (2) (一社)日本溶接協会 溶接検査認定委員会
- (3) (公社)石油学会 設備維持規格委員会
- (4) (一社)日本高圧力技術協会 AGD 委員会等
- (5) (一財)全国危険物安全協会 地下タンク等定期点検実施制度運営委員会
- (6) 放射線障害防止中央協議会
- (7) (一社)日本エルピーガスプラント協会 検査事業者委員会